





気候変動シナリオに基づくリスクと機会の分析結果

区分	要因と事象	評価				当社の取り組み状況 ● リスク対応 ○ 機会対応 ● リスク/機会対応	
		4℃シナリオ		1.5℃シナリオ			
		リスク	機会	リスク	機会		
脱炭素社会への移行に伴う影響	カーボンプライシング 	炭素税の導入をはじめとする事業コストの増加	小	小	大	小	<ul style="list-style-type: none"> <li>Scope1,2の削減目標の設定と実行</li> <li>2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み</li> </ul>
	省エネ・再エネ政策 	省エネルギーや再生可能エネルギーに関する政策への対応	小	小	大	大	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光パネルの設置 ⇒MBOドイツ工場に太陽光パネルを設置し、2023年3月期の発電量実績は57,364kwh</li> <li>再生可能エネルギー由来の電力の導入</li> <li>○ 製品開発時の省エネ性能の訴求</li> </ul>
	エネルギーコストの変化 	再生可能エネルギー由来の発電方法に切りかわることなどによる電力価格の上昇	小	小	中	小	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品製造時の空調および照明設備の省エネ化 ⇒つくばプラントおよび本社の照明をLED化</li> <li>○ 省エネ性能の高い製品の開発</li> </ul>
	次世代技術の進展 	デジタル化の進展による印刷機器の需要の変化	中	中	大～中	大～中	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の生産性向上によるダウンサイジング</li> <li>● 環境性能の高い印刷機やデジタル印刷機への移行</li> <li>○ プリンテッド・エレクトロニクス分野における環境負荷の小さい製品の開発</li> </ul>
	原材料コストの変化 	鉄の精錬方法の変化による鋳物・鋼材価格の上昇	小	小	中	小	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライヤーとの対話を通じた代替品の調査・検討</li> </ul>
	レピュテーションリスク 	気候変動への取り組み状況の如何による企業評価への影響	小	小	中	小	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な情報開示とステークホルダーとのコミュニケーション</li> </ul>
気候変動による物理的な影響	異常気象の激甚化 	気象災害による自社拠点およびサプライチェーンの被災	大	小	中	小	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハザードリスクのある事務所の移転と対策 ⇒2022年8月に小森グローバルパーツセンターをハザードマップで洪水の危険性の高かった千葉県野田市からつくばプラント内に移転</li> <li>BCP対策の強化</li> </ul>
	平均気温の上昇 	気温の上昇に伴う空調設備使用による事業コストの増加	大	小	中	小	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ性能の高い空調設備の導入</li> </ul>

【評価指標】

- ・ 2022年3月期の営業利益実績に対しての影響がある(考えられる)項目に対して以下の基準で定量的な評価を実施しております。  
⇒大:5%以上、中:1%以上～5%未満、小:1%未満
- ・ 定量的な評価を行っていない影響については、定性的な考察を踏まえて評価し、定性的な評価は「グレー」で表示しております。